

平成29年3月10日

第2学年 保護者様

横浜市立豊田小学校
校長 瀬尾 芳保

平成28年度 横浜市学習状況調査の調査結果について

本年2月（平成28年度）、横浜市学習状況調査が実施されました。その目的とするところは、

- 横浜市教育委員会は、学力向上を目指し、学習状況を生活意識などと絡めて分析的・総合的に把握すること
- 各学校は、教科指導や教育評価などの改善に生かすこと
- 児童生徒は、学力向上に向けて自己評価や自らの学習の改善などに生かすこと

となっております。個々の児童の調査結果については、本日、全校一斉に「自己確認表」と「自己確認表の見方」を各ご家庭に配布しました。これまでの学習内容の理解の状況や学習方法を振り返り、さらに意欲的に取り組めるようにご活用いただければと思います。

次に、本校児童の学習状況についてですが、市平均とともに各学年、各教科、観点別、領域通過率として調査結果がまとめられました。各学年の考察から、改善が必要とされる内容につきましては、次年度へ引き継ぎ、指導改善を図っていきます。

<よいと考えられる状況>

国語 ・ 言語理解（言葉の使い方、漢字の読み書き）は、概ね定着していた。

- ・ 朝作文を繰り返し行ったため、語と語の続き方に注意しながらより詳しい文章を書くことができた。

算数 ・ 数量や図形についての理解は、概ねできていた。

- ・ 図形（三角形）の定義を作図に生かすことができた。
- ・ 時刻、時計では日頃から触れる機会が多く、学習したことが定着してきた。

<指導及び改善が必要とされる内容>

国語 ・ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

- ・ 片仮名を正確な字形で書くこと。（はね、とめ、はらいに気を付ける。）

算数 ・ かけ算九九を確実に唱えることができるようにすること。

学校ではこれまで以上に、子どもが興味・関心をもって取り組み、「学習が楽しい」と言えるように授業改善を図っていきたいと思います。併せて、子どもの学習環境をよりよいものにしていくために、ご家庭・地域のご協力、ご支援をよろしく申し上げます。